

交渉情報	NO.83	日本郵便(株)信越支社 要員集配部
JP労組信越地方本部	2023年2月7日	添付資料:4枚

田尻郵便局（旧集配センター）の郵便区調整に関する具体的実施計画

ならびに具体的要員措置計画に対する地方交渉の整理について

【関連：信越地本第 51 号（2023.1.27）】

地方本部は、1月27日「田尻郵便局（旧集配センター）の郵便区調整に関する具体的実施計画ならびに具体的要員措置計画」に対して意見表明を提出し、地方交渉を展開してきました。

本日、別紙をもって整理を図りましたので周知します。

最終整理にあたり、信越支社 鈴木要員集配部長より、「田尻郵便局（旧集配センター）の郵便区調整について、具体的実施計画および具体的要員措置計画を1月6日（金）に提示させていただいた。

これに対し、JP 労組信越地方本部からは、具体的実施計画ならびに具体的要員措置計画に対する意見表明を1月27日（金）にいただき、本日までの間、短期間であるが窓口で精力的に交渉いただき、本日、大綱整理の運びとなった。感謝申し上げる。

田尻郵便局の集配業務を柏崎郵便局に集約することにより、柏崎郵便局集配営業部として配達業務の相互応援が可能となる。また、内務作業も不要となり、より効率的な集配業務を実施することができるほか、田尻郵便局の空きスペースをゆうパックの一時保管場所として活用することも可能となる。

意見表明でいただいた意見については、いずれも重要な内容であるが、その中でも社員駐車場の確保については、勤務拠点が変更となる組合員の皆さまにとって懸念事項でもありと考えることから、早期確保できるよう対応する。

地方交渉は本日、大綱整理となり、労使交渉の場は、今後、現場段階における支部労使委員会となるが、今後も移設スケジュールに関しては、準備が出来次第、説明するほか、正常な業務運行について万全を期すためにも、直前直後の移行作業等についても支援する。

本施策が円滑に実施するためには、組合員の皆さまの協力が必要不可欠。労使一体となって一致協力し、取り組んでいきたい。引き続きの協力をお願いする。」との決意が示されました。

地方本部を代表して関川書記長からは、「本日、現場意見を集約した具体的実施計画ならびに具体的要員措置計画に対する意見表明の大綱整理となった。

今後は準備が現場段階に移行することになる。郵便局は人的依存度の高い会社であることから、最後は人の力によるところが大きい。そのため、まずは事前準備段階での不安や疑問が出た場合はすぐに解決し、業務運行がスムーズに行えるようにスケジュール感を持ち、万全な体制で5月8日を迎えていただくよう改めて要請する。

また、郵便区調整を行った効果を社員が実感でき、現場が柔軟に対応できるように支社のフォローをお願いする。」との考え方を示しました。

下記に地本要求内容（下線部）と支社回答のポイントを記します。全体の要求回答については、別紙を参照してください。

なお、中越支部における「支部労使委員会の窓口」を2月17日（金）までに行い、関係局における社員周知については、「支部労使委員会の窓口」終了後、意向確認を含め2月28日（火）までに実施することとしていますので承知願います。

【総論】

1. 柏崎郵便局へ田尻郵便局（旧集配センター）の郵便区調整するに至った理由を示すこと。
また、その効果を明らかにするよう、求めたことに対し支社は、
田尻旧集配センターと柏崎局間の距離は、5.3 kmと比較的近いことと、柏崎局の設備に作業スペースを確保できることから、総合的に判断し郵便区調整を実施するとしています。
効果としては、当日の物数に応じた業務の応受援が容易になること、旧集配センターの内務業務担当の社員を、外務作業に配置することにより、物増対応による廃休や超勤減少を見込んでいるとしています。

【業務】

2. 連休期間中の運送便に係る積載特定や、不在留置郵便物の窓口交付、再配達、保管書留の管理など、直前直後における業務の移り変わりについて明らかにするとともに、十分な体制を整えた上で実施すること。また、本件の実施にあたり特定の社員に超勤が偏ることがないよう勤務時間管理を徹底するよう、求めたことに対し支社は、
集約時における移行作業の支援を行うとともに運送便に関しては、柏崎局および関係局と連携し遺漏のないよう社員周知を徹底する。不在留置郵便物については、集約の15日前から集約日、集約先である柏崎局の連絡先を記載した紙片を貼付しお知らせする。
また、保管郵便物、ゆうパックについては、5月7日（日）の上3号便で柏崎局へ送付する。なお、業務に支障ないよう万全を期すとともに、属人的な業務の偏り等発生しないよう体制の構築と日々の勤務時間管理を行うとしています。

3. 統合後における田尻郵便局（旧集配センター）を含めた柏崎郵便局の班体制について、現時点での考え方および今後の方向性について明らかにするよう、求めたことに対し支社は、
集約後は、田尻旧集配センターの通集配区 4 区、混合 2 区を新たに集配営業部 4 班として業務を行う。今後の方向性として、配達順路は現地と調整の上、見直すべき箇所を検討し、効率的な配達順路を設定するとしています。

4. 田尻郵便局を利用されている事業所およびお客さまへの周知方法と周知スケジュールを明らかにすること。また、田尻郵便局前ポストの開函回数や時刻について早期に明らかにするよう、求めたことに対し支社は、

事業所への周知は、3月下旬以降、訪問による集約の全体概要説明、集荷、差出方法等調整、各種手続等を行う。また、お客さまへの周知は、4月中旬、郵便局窓口へ周知ペーパー掲出、お知らせチラシの全戸配布を行う。なお、田尻局前ポストの開函時間、回数は統合に伴い見直す予定であり、事前に実態を調査し、決定次第改めて情報提供を行うとしています。

【施設】

5. 柏崎郵便局のレイアウト変更に当たっては、職場の意見を踏まえて検討すること。また、社員駐車場、更衣室、ロッカー、雨具置き場、乾燥室等を確保すること。特に社員駐車場に関しては柏崎郵便局近隣では貸駐車場が少なく他企業も利用していることから、早期に確保するよう、求めたことに対し支社は、

柏崎局の設備で更衣室・ロッカー・雨具置き場・乾燥室の対応が可能。また、社員駐車場は、近隣駐車場の空き状況を確認した上で社員へ紹介、早期確保に向けて対応していくとしています。

6. 現在、田尻郵便局（旧集配センター）で契約している保守店（二輪・四輪の点検・修理等）の統合後の扱いについて考え方を示すよう、求めたことに対し支社は、

現在、契約している田尻旧集配センター区内の保守店に引き続き、車両の点検・修理を依頼する予定であり、保守店には丁寧に説明するとしています。

7. 田尻エリアの休憩所や前送施設の要否と、統合後における田尻郵便局の空きスペースの活用方法について、考え方を明らかにするよう、求めたことに対し支社は、

田尻局の空きスペースは、柏崎局との局間距離が大きく離れていないことから平常期は休憩所や前送保管所として活用を考えていないが、冬期や物数増加時等は使用する可能性がある。また、主な活用方法として郵便局窓口で引き受けたゆうパックの一時保管場所として使用する予定であるとしています。

【要員・労働力】

8. 本施策の実施計画および要員措置計画について、対象社員へ丁寧な説明を行い理解・浸透をはかるよう、求めたことに対し支社は、

本施策の実施計画および要員措置計画に関して、関係社員全員が理解できるよう丁寧に説明するとしています。

9. 統合後の要員配置について万全を期すこと。また、やむを得ず雇用終了となる期間雇用社員が発生し、要員が不足する場合は、業務に支障をきたさないよう早期に要員を確保するよう、求めたことに対し支社は、

統合後の要員配置、正常な業務運行については万全を期すよう郵便局、支社で連携の上、進めていく。また、本人の希望により雇用を終了する期間雇用社員が生じる場合は、業務運行に支障を来すことがないよう、新規期間雇用社員の確保に努めるとしています。

【その他】

10. 本施策におけるの支部段階における意思疎通は、丁寧な対応をはかるとともに、課題等が発生した場合については早期に対応するよう、求めたことに対し支社は、

支部段階における意思疎通については、郵便区調整の施策が円滑に取り運ぶよう丁寧な対応を行う。また、課題等が顕在化した場合は、その解決に向け速やかに対応するよう指導するとしています。

以 上